



vol. 90

2004.4.11

天地金乃神大祭号

金光教山崎教会 / 発行

649-6235 和歌山県那賀郡岩出町西野 234

電話 0736 (62) 1106

ファックス 0736 (63) 2043

ホームページ <http://konko.pos.to/>

メール konko@pos.to

ご伝記「金光大神」より
教会長 明渡真幸
教祖ご伝記「金光大神」
には、18章4「天地と人代」
の中に

明治9年8月9日お知らせ
を受けた金光大神は、「木、
竹、草、五穀など、なんでも
天地（あめつち）がなくては、実が実らない。天地
とは、雨と土といってもよい。信心すれば一層よい生
育や収穫が得られる」と、妻や子供に教えた。・・・
明治5年には、東京～長崎に電信線が敷かれ、翌
年には岡山でも電報の取り扱いが始まった。・・・そ
の数年後、蒸気船に乗って大阪から参拝してきた信者
が、その船の速さについて語り、また「電報を用いる
と、東京大阪間でも1時間で返事が届く」と告げたの
に対し、金光大神は、「私は汽船も電報も知らないが、
まだ速いことがある。日天四様は、朝から晩までの間
に東から西へお入りになってしまう」と語った。
文明の利器を見るとときにも、天地へのまなざし
が閉ざされることはなかった。さらに、人々が
文明開化をもてはやすようになった時期、金
光大神の口から、「世が開けるといふけれども
開けるのではない。めげる（壊れる）のであ
る」と、文明の行く手を危ぶむことばが発せら
れた。・・・明治13年6月25日、神から、
「すべての人間は、素人（しろうと）、玄人
（くろうと）と申すことなく、大人、子供の区別
なく、天地に無礼をしている。その人間の無礼な行為
によって、天地の一切のものが、鳥や獣（けもの）に



至るまで差し障りを受け、それが
また人に当り返している。そうした
人間が、無礼をお断りするよう
に、天地乃神が教えてやる。その取次
をするのが、生神金光大神である。
しかし教えに背（そむ）く者は仕
方がないと、お知らせがあった。

このあと、ご伝記は、神代（か
みよ）と人代（にんよ）のお知らせへと続いて行きます
が、天地への無礼、神への無礼、人間の生き方
の難儀さが、しきりに神さまから指摘される時期、人の
世の乱れ、神の教えの伝わらないもどかしさ、金光大
神の死の迫りとが相まって、神の厳しいお知らせが続く
この明治十年代は、ようやく21世紀を迎えた今と重なっ
て見えることしきりであり、今の時代を、私たち信奉者
も謙虚に反省すべきではないだろうか。ともかく、皆さ
まには、本日のご大祭の大みかげをいただかれますよ
うにお祈り申しあげます。



春うらら桜満開の4月1日、45名（バス・新幹線）が
ご本部「天地金乃神大祭」第1日にご参拝のおかげをい
ただきました。



「信心のお手本」表彰と「新年会」

2月1日(日)月例祭のあと、恒例の「信心のお手本」表彰(長年に亘り信心とご用を進め、喜寿を迎える方へのお祝い)が行われ、会館で「教会新年会」が楽しく催されました。

今年の受賞者は、河野和男様、河野ミサ子様、西谷貞子様、川端敏次様、城山千恵子様、藪本久子様、宮川圭子様の7名でした。昭和57年から行っている行事ですが、受賞者は128名を数えます。

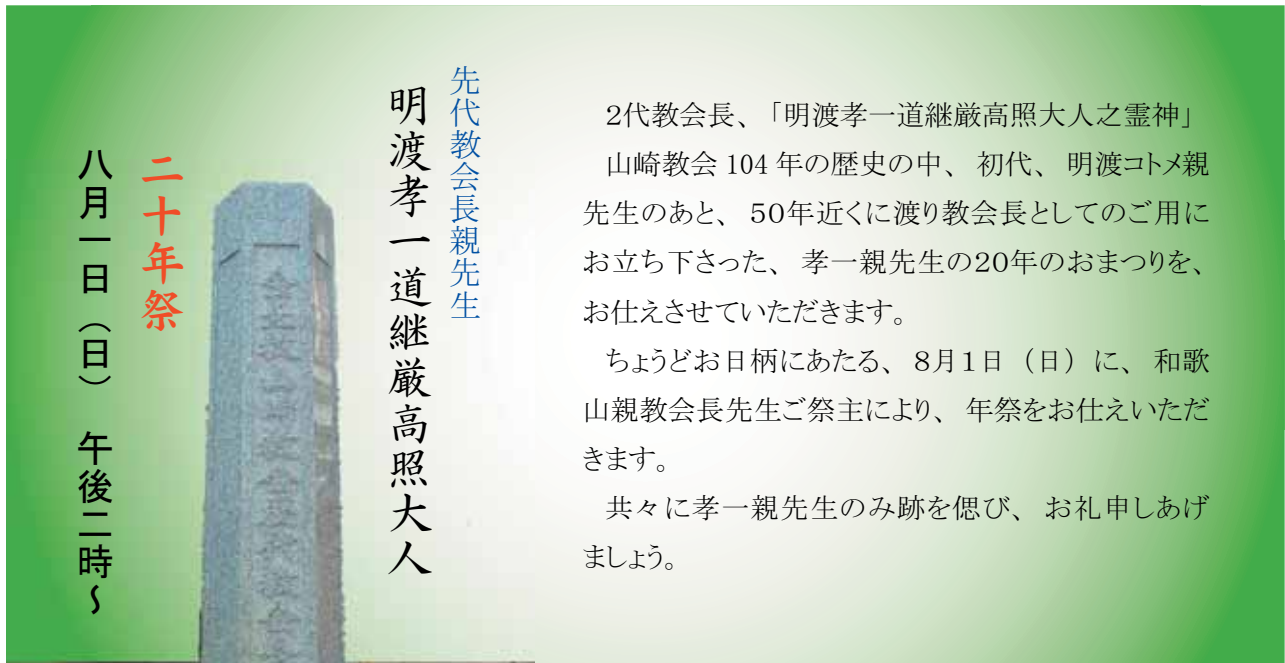


ご大祭ご用、ここにも！

お広前の花もきれいですが、会館の廊下には、いつも大きな生け花をしつらえてくれています。ご覧になりたいかたは、今すぐ会館へ。(一階の和室前の脇です)



シルバールームの新年会
1月13日、楽しいメイトのつどい
老後を楽しく生き生きと！



先代教会長親先生

明渡孝一道継巖高照大人

二十年祭
八月一日(日) 午後二時

2代教会長、「明渡孝一道継巖高照大人之霊神」
山崎教会 104 年の歴史の中、初代、明渡コトメ親先生のと、50年近くに渡り教会長としてのご用にお立ち下さった、孝一親先生の20年のおまつりを、お仕えさせていただきます。

ちょうどお日柄にあたる、8月1日(日)に、和歌山親教会長先生ご祭主により、年祭をお仕えいただきます。

共々に孝一親先生のみ跡を偲び、お礼申しあげましょう。

孝一親先生のみ教えより

- ・前向きの信心をせよ。前向きとは「きのうを忘れ、今日を喜び、明日を楽しめ」とのこと。
- ・喜びを○としたら、不足とは欠けていることであり、不足を言っている人は「私は足らん人間です」ということを示しているも同じで、恥ずかしいと思わねばならない。

やまびこ園



楽しい! ハイキングとバーベキュー大会

5月3日(祝) 雨天決行

やまびこ園(富田林市)

多数ご参加ください! 申込受付中。

大型バスで、現地まで行きます。(8時45分ご祈念)
参加費 おとな 2,000円 学生・子ども 500円

景観よし。

バーベキュー、ミニ・アスレチック、遊歩道。水洗トイレ。

老若男女、だれでも参加出来ます。

肉、ビール・ジュース、簡単なうつつ等は用意します。
おにぎりやお好みのタレ等は各自ご持参下さい。

バスが満車時点で切ります

主催: 青年会・さなえ会・少年少女会

祭典次第

オープニングビデオ

祭員参向

着座

開帳

拝礼

「神前拝詞」奉唱

献饌

「取次唱詞」奉唱

祭主・祭詞奏上

祭主・玉串奉奠

「天地書附」奉体

参拝者玉串奉奠

参拝教師

役員・輔教代表

婦人会代表

青年会・さなえ会代表

少年少女会代表

参拝者代表

「神徳賛詞」奉唱

「神人の栄光」斉唱

拝礼

祭員退下

吉備舞奉納

「今日のみ祭り」

明渡さとみ

教話

「ありがたいが一番！」 教会長

お下がり（お直会）

お赤飯（参拝者・ことづかりも）・紅白饅頭（奉献者）・和賀心46号（家庭に一冊）・教会新聞「山崎」（随時）・お菓子（こども）・生花（参拝者）



教祖、生神金光大神様のみ教えより

「天と地の間に人間がいる。すなわち、天は父、地は母である。人間、また草木など、みな天の恵みを受けて、地上に生きているのである」

「目には見えないが、神の中を分けて通っているようなものである。畑で仕事をしていようが、道を歩いていようが、天地金乃神の広前は世界中である」

「天地金乃神は昔からある神である。途中から出来た神ではない。天地は、流行（はや）ることがない。流行ることがなければ終りもない」

「天地金乃神は、幾千万年、天地のある限りただ一つであるけれども、ほかの神は年々に増える」

「天地金乃神のご神体は天地である。宮社（みややしろ）に鎮まり納まっておられるのではない」

「神は、人間を救い助けてやろうと思っておられ、このほかには何もないのであるから、人の身の上に決して無駄事（むだごと）はなされない。信心しているがよい。みな末のおかげになる」

「無信心者ほど神はかわいい。信心しておかげを受けてくれよ」

「神へはなんでも願え。神は頼まれるのが役である」

和歌山親教会

天地金乃神大祭

4月18日（日）午後1時半から

月例祭 4月21日（水）

5月は1日・10日・22日

ご本部「独立記念祭」参拝

6月13日（日曜）

秋の教会大祭 10月10日（日）

神人の栄光（しんじんのえいこう）

- | | |
|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 1. 天地（あめつち）は 神のふところ
人はみな 神のいとし子
限りなき 神徳（めぐみ）の中に
生かさるる われらうれしき | 2. 人の世に とわの光を
いとし子に 尽きぬみかげを
誓わしし 教祖（みおや）の神に
救わるる われらうれしき |
|------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|

